

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 11月 18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500406		
法人名	医療法人社団さゆり会		
事業所名	グループホームさゆり		
所在地	広島県呉市音戸町早瀬1丁目36-6 (電話) 0823-56-2360		
自己評価作成日	令和4年10月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500406-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年11月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

コロナ前には当たり前できていたことが、コロナ後では多くのことができなくなりました。この環境下で、今できることを模索しながら行っています。安全に配慮しつつ、笑い声が絶えない施設を、ご家族の協力を得ながら継続して参ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営推進会議に参加する自治会長の提案による建物の裏の崖との間にブロック塀を設置することに伴う補助金の申請や、近隣の住民による利用者との花壇づくりなど、地域とグループホームの連携を図っている。法人内の訪問看護ステーションの看護師が1日に4回来訪し、病院との連携を図っている。外出の機会をコロナ禍でも大切にしており、ワゴン車を所持し、遠出や自宅周辺へのドライブに活用している。自宅周辺へのドライブにより、馴染みの場所や人との関係が継続できるよう支援している。看取りの取り組みを積極的に行っており、入浴設備も個浴、介護しやすい3方向介助の浴槽、ミスト浴など重度化しても入浴できる設備を整えている。

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念「全ての人の尊厳を大切にします。」「全ての人が両親を入所させたい施設を目指します。」更衣室の目につく場所に貼りだして、いつも目に入るようにしています。職員がケアに迷ったときは、理念に立ち返ることをしています。	基本理念を明文化し、更衣室に掲示し常に職員で意識してケアしている。また、目標として「利用者の視点でケアする」こととしており、ケアが職員の視点にならないように、都度職員間で指摘し合い確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の方と一緒に畑作業をし、花を植えたり、草抜きをしています。季節により、地元のお餅屋さんや牡蠣屋さん、中華屋さんなどからおいしいものを購入して、皆で食べています。	日常的には近隣の散歩や花壇や畑作業を利用者と近所の方が一緒に行っている。敬老会にはボランティアの訪問を受けたり、年に2回の牡蠣祭り等に参加し地域の方と交流している。地元の商店に出掛けていたが、コロナ禍でも関係が途切れないように食材を仕入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議や、地域行事等でお会いした地域の方々から、介護保険の事や認知症の方への対応の仕方を質問されたときは、丁寧に説明しています。また、地域の方から電話での質問や困りごとに、回答や助言を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催しています。自治会長、民生委員、包括の職員さんにお越しいただき、施設の取り組みや今後の計画を報告しています。また、ヒヤリハットや事故報告、虐待防止や身体拘束廃止について報告相談し、ご意見や助言をいただき、運営やケアに反映し活かしています。	玄関ホールでの開催ではあるが、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て2か月に1度開催している。自治会長からは補助金等の情報を得て、ブロック塀の増設に結びついている。地域包括支援センターから地域の認知症の方の状況について情報を得ている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市担当職員と、書類の提出時や運営上の相談を行っています。地域包括支援センターとも、地域の介護で困っている方を紹介させて頂いたり、運営推進会議に出席頂き、各種報告や相談をさせて頂いています。	呉市がオンラインで開催する医療や介護の会議や研修に参加している。介護保険更新申請時など支所への訪問は日常的に行っている。社会福祉協議会とも成年後見人制度や地域包括支援センターを通じたつながりがある。	

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に書面によりご説明し、承諾を得て、緊急時にも書面による説明承諾を行っています。委員会を設置し、施設内研修を定期的に行っています。職員間でも互いに確認しあい、少しでも身体拘束のグレーゾーンをなくすよう努めています。</p>	<p>運営推進会議を活用して身体拘束適正化の会議を行うとともに、年2回eラーニングを活用して研修を行っている。運営規程に身体拘束廃止の方針を定め、重要事項説明書にて利用開始前に身体拘束適正化の取り組みについて説明している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内研修にて、虐待へ繋がる兆候やケース儀礼から研鑽しています。委員会を設置し報告や相談を行っています。来所された方や外部の方に施設内を見ていただき、職員の対応や言動から気になるところがないか、ご意見を頂いています。また、職員間でも気づきを話し合える関係を作っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修を行っています。成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるのので、実例を通して研修できています。また、制度を利用していらっしゃる方におかれましては、呉市社会福祉協議会の権利擁護センター職員と連携を取り、生活上困りごとがないようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時に書面にて丁寧に説明を行い、十分ご理解納得いただき、署名を頂いています。不明な点や疑問、不安などあればその都度説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置しています。窓口責任者を決めて対応しています。また、利用者やご家族との会話の中で出てきた意見を、職員間や運営推進会議で話し合い、運営やケアの改善に活用しています。</p>	<p>家族の面会時や来所時に意見や意向の確認に努めている。家族からの要望で面会のルール変更や利用者からの要望でケアマネジャーと一緒に自宅訪問を行っている。意見箱を玄関に設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	不定期でのミーティングを行っています。また、個別での意見や相談も随時受けています。経営者や管理者と話し合える場を作っています。経営者や管理者も、定期的な会議の場や、折々の場で、運営について相談できています。検討した内容を運営やケアに反映できるようにフィードバックをしています。	「連絡ノート」を中心に相談・提案事項を共有化し検討をしている。法人の理事長が医師として週2回往診の際に、個別のケアの在り方や提案事項について検討している。希望休は月に3回、シフトや勤務時間の希望等、月を単位にシフトの工夫を細かくしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々の家庭環境や体調面に配慮した勤務体系を作ったり、生き生きと働けるように、言葉がけを行っています。資格取得や、勉強会への参加を促していますが、職員からの提案も受け入れています。職員考査システムを導入し、やりがいのある職場になっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年に数回不定期で、講師を招き研修会や勉強会を行っています。外部研修では、費用負担や参加しやすい勤務を組んでいます。研修修了者から、学んだことを職場内で広めることをしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人として、資格取得に対する支援を行い、県や市の参加により、職員一人一人の工場を回るよう努めています。同業他社の職員を招いての研修を行っています。オンラインでの研修会も多く参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に、面談等で本人からのお話や普段のご様子から、希望することや不安なことを把握し、入居後の生活の要望をお聞きしている。また、安心して新生活に馴染めるよう、本人の声を大切に受け止めています。さらに、ご家族の協力を得ながら心理的関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人との面談時には、ご家族の同席をお願いしています。ご家族の不安なことや困っていることを把握し、入居後の生活の要望をお聞きし、安心してお任せ頂けるよう対応しています。その後は電話でも気軽に相談を受付けて、ケアに活かしています。生活の様子をお伝えすることを細かく行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	お会いした際に、本人の状況や、本人と家族の意見を確認し、必要に応じて、他のサービスや事業所、他の施設の説明や紹介ができること、主治医や薬剤師、行政と気軽に相談できること、当施設では、看取りまでやっており、いろいろな選択ができることをお知らせし、説明しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お一人おひとりのできること、得意なことを把握して、テーブルセッティングや下膳、畑仕事に裁縫などをお手伝いいただいています。職員と一緒に作品や壁面制作をしたり、地元の行事についての話や、聞きなれない方言の話をしていきます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居前の面談で「当施設では、職員だけでケアを行っていくのではなく、ご家族と一緒にケアしていくことを目指している。」ことをお伝えし、無理のない範囲での協力を得ています。面会や嗜好品の差し入れなど、協力いただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている。	ご家族、ご親戚、お孫さん、お友達、近所の方、多くの方に面会いただいています。通院、法事、結婚式など外出を支援しています。遠方の方には、lineやSkypeのビデオ通話も行っています。お住まいだった地域をドライブし、なじみの場所を通っています。知人などに季節のものを送ったり送られたりしています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないうように自宅周辺や馴染みの場所へのドライブを行っている。面会の工夫を工夫して、家族や知人の面会を受け入れている。手紙や電話の取り次ぎ、盆・年末の贈り物などの支援を行ったり、受け取ったりの支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係が良好になるように、食事の席を工夫したり、入浴の順番を調整したり、レクリエーションの際に交流できるものを取り入れたりしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	死亡により対処された方の家族は、生前のことを思いだされながらお話をしにこられたりします。他所へ転居された方の家族は、終末期への相談などでこられることがあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	聞き取りや、何気ない会話の中で、思いを汲んでいきたいと考え、行っています。会話や意思疎通が困難な方は、本人の立場になって考え検討しています。	利用開始時に生活歴や趣味・嗜好を確認し、分からないときは家族と相談しながら対応している。日ごろの言葉や意向を「連絡ノート」に記載し、職員間で情報共有してケアに活かしている。会話が難しい利用者には、表情や様子を確認しながらケアをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談から生活歴を大まかに聞き取りし、入居されて生活していく中で、本人や家族からいろいろな話を伺い、それを生活歴に肉付けしていき、歴史を知り、より良いケアにつなげています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	様子を記録し、ケース記録やバイタルチェック、日々の少しの変化などから、本人の状態を見ることで、多職種間で情報共有し、現在の状況の把握、今後の計画を立てています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	普段のかかわりの中で、本人の思いや願いを聞き取り、医師や看護師の意見を取り入れています。家族とのかかわりも重要であるにとらえ、意見を反映させた計画を立てています。	モニタリングは3か月に1回、日々の実施記録とケアマネジャーによる職員へのヒアリングをもとに行っている。必要に応じて、往診時に医療やケアに関わる相談を行い介護計画に活かしている。また、日ごろの様子から服薬等の検討をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画に沿ったケアが日々できているかモニタリングし、個別経過記録を取っている。記録を活かし、介護計画に反映しています。	/	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	集団行動を基本としていません。できるだけ、個人の希望や身体状況に添えるよう対応しています。予定を組み、時間設定はしていますが、入浴や食事、離床起床時間もそれぞれ対応しています。	/	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問美容やボランティア団体による慰問、亀山神社への初詣、近隣のお店から食事を取り寄せたり、弁当を購入したり、花の咲く時期には多くの名所を訪れています。近隣の方が持ってこられた花の苗を育て、水やりや草抜きなどを一緒に楽しんでいます。	/	
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週2回の内科往診。週3回の歯科往診があります。専門医への受診は、その都度職員で対応しています。	往診医がかかりつけ医であった方がほとんどである。皮膚科、眼科、外科については、職員が受診の支援を行っている。毎日4回訪問看護があり、医師との連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護師が日に4回訪問しています。医療処置やリハビリ、健康チェックや相談を行っています。かかりつけ医との連携をとったり、緊急時には24時間コール対応していただきます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の病院と、連携室をとおして情報のやり取りをしています。治療が終わったら、すぐに帰ってこられるように調整しています。また、空き情報などの提供を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に書面により重度化や終末期について説明しています。医師より、いよいよ終末期に入った旨を告知された場合は、再度、本人家族の意思確認をしたうえで説明し、今後のことや看取りを含めた選択肢などについて話し合います。医師看護師介護士家族の情報伝達や連携をより一層強め、かわっていきます。</p>	<p>利用開始時に意向確認書で確認するとともに終末期は都度確認をしている。年間3～4名の看取りの実績がある。医師・看護師・介護職員・ケアマネジャー・家族が連携し、終末期のケアプランを作成しケアをしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>入居契約時に書面にて急変があること、事故が起こることを説明しています。医師や看護師から緊急時の対応を研修や指導を受けています。連絡体制を目につく場所に貼りだしたり、緊急時マニュアルもあり、日頃から準備できています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の協力を得て、日中想定夜間想定年2回の火災訓練、芸予地震対応訓練、土砂災害対応訓練、津波避難訓練を行っています。また、備蓄水食料や災害時物資を保管しています。</p>	<p>津波、高潮、洪水、土砂災害警戒地域である。災害種類により避難場所が異なることと、避難場所までの交通手段も車両使用不可にて現実味がなく苦慮している。一方で3日分の備蓄・発電機の申請を整えている。訓練は日中想定と夜間想定年2回行い、地域にも呼びかけている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	基本理念を繰り返し思い返すよう指導している。接遇や言葉遣い、プライバシー保護について研修を継続しています。入浴時や排泄時、居室などのプライベートな空間をゆっくりくつろげるよう対応しています。	利用者の尊厳が基本理念であり、常に大事にしてケアしている。eラーニングによる倫理、接遇マナー、個人情報保護などの研修を実施している。介護記録などは鍵付き書庫にて保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望することや思いを、本人の意思決定を大切にしています。本人から引き出せるよう、言葉を選んで話しかけています。例えば選びやすいよう選択肢を減らしたり増やしたりしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課をこなすために、起床臥床時間や食事摂取量、入浴時間、レクへの参加などを他者と同じくしなくてもよいです。健康に害があることでなければ、お一人お一人のペースでお過ごしいただけるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、お出かけ前の整容、季節に合わせた装いをお手伝いします。2ヶ月に1度、訪問美容に来ていただいています。カット、カラー、パーマ、メイクを楽しまれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1度の特別食は日頃と違ったメニューを用意して楽しんでいただきます。季節の食材を使った料理は大変喜ばれます。お好み焼きの日は、皆さん総出で調理をされています。できることを無理なく参加頂いています。	ご飯と汁物は毎日グループホームで調理し、業者が持って来たおかずを購入し温めている。盛付や配膳、後片付けができる利用者には職員と一緒にやっている。月に1度の手作り食の日とお好み焼きの日は、全員で調理し会食している。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専門業者による献立で、栄養価の管理はできています。一日の食事摂取量、水分摂取量を個人記録に残し、医師看護師と情報共有しています。栄養が不足する方は、栄養飲料で補っています。歯科医とも連携を取っており、状況により食材を刻んだりトロミを付けて摂取しやすくしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に歯磨きうがい、義歯の清潔保持を行っています。自身で難しい方には職員がお手伝いしています。週に3回、歯科衛生士が来られるので、口腔内や飲み込みの状況を確認しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を使用して、排泄のパターンを把握するようにしています。時間やサインを見逃さないようにしています。できるだけトイレでの排泄ができるよう、タイミングを逃さないようにしています。新規入居者の排泄パターンは、早期に把握できるように心掛けています。	排泄表で排泄のパターンを把握し、タイミングをみて羞恥心に配慮した声掛けと介助をしている。病院を退院後はおむつからパット、布パンツに移行する方もいる。トイレでの排泄が職員の負担軽減にもなることから積極的に進めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬だけに頼らないよう、適度な運動と水分摂取をしっかりと行っています。自然な排便ができるよう、毎朝の食事に乳製品を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者の気持ちや、体調に配慮して、時間の変更や日にちを調整しています。入浴が億劫で拒否される方もいらっしゃいますが、一度トイレにお連れしたり、話題を変えてしばらくお話ししたり、入浴したくなるよう促しています。洗身洗髪、更衣が難しい方は、職員ができないところをお手伝いしています。	週3回の入浴を行っている。個浴をはじめ毎回一人ひとり浴槽の湯を替えている。拒否のある方も声掛けや時間をずらすなど対応を工夫して入浴している。個浴、介護しやすい3方向介助の浴槽、ミスト浴など重度化しても入浴できる設備を整えている。	

自己 評価	外部 評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夜間にしっかり休めるよう、日 中は活動的に過ごして頂くこと をお勧めしています。食後や入浴 後、運動後、年齢や体調、気分 などで少しお休みになりたい方 は、夜間の睡眠に影響がない範 囲で、横になっておられます。朝 の起床時間や夜の臥床時間決ま っていますが、個々のペースに従 っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	かかりつけ医、看護師、薬剤師 と連携し、病状の変化や服薬内 容を記録し、職員間で情報を共 有している。おくすり手帳やお 薬ファイルを使っており、いつ でも確認できるようにしている。 お薬の変更があった場合は、薬 剤師から通知があり、周知して いる自身で服薬が難しい方は、 介助しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	手作業や園芸、掃除、洗濯、散 歩、おしゃべり、個々のお好き なことができるよう、時間や環 境をつくっています。自宅の周 りをめぐるドライブは好評です。 移動販売の来所を楽しみにさ れ、お好きなものを購入してい ます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	散歩や日向ぼっこ、洗濯もの干 し、ドライブ、なじみの地域、地 域行事などで外出しています。車 両で自宅までお送りし、家の換 気をされています。ご家族の協 力で、法事や結婚式、買い物 や役所などに外出できるように 支援しています。	日常的には近隣の散歩、花壇や 畑作業を利用者と近所の方が一 緒に行っている。自宅や自宅周 辺、観光地へのドライブ、法事 や結婚式への家族送迎への支 援、地域の祭り等への参加など 、コロナ禍でも積極的に取り組 んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	自身の財布から自販機で飲み物 を購入されています。移動販売 車がある日は、好きなものを選 んで購入されています。訪問美 容や通院時に自身でお金を払 われています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>個人で携帯電話をお持ちの方は、いつでも家族と連絡を取っていただけます。お持ちでない方も、施設の電話やlineとSkypeのビデオ通話をご利用頂けます。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用部は見た感じと、香りと消毒に気を付けています。季節感のある飾りつけと作品、換気や消臭芳香剤ですがよく生活していただけます。手が触れる場所は、定時の消毒で清潔にし、感染症対策もしっかり行っています。</p>	<p>共用部は十分な広さがあり、一人でくつろげる空間がある。利用者が作成した壁面工作で季節が感じられるよう配慮している。換気や臭いにも配慮し消臭芳香剤を使っている。室温・加湿についてもエアコン等で管理している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>わいわいにぎやかに過ごされたい方は、テーブル席でお過ごしいただけます。ゆっくりしたいけど、部屋に帰るのは寂しい方は、ソファでくつろぐことができます。ご自由にゆっくりとお過ごしてください。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>新たに購入したものでなくても、これまで過ごしたご自宅にあるもので、本人が必要なものをお持ちいただくようにしています。居室内の配置であったり、模様替えは、本人と家族に相談しながら行っています。</p>	<p>居室の配置は、家族と利用者が利用開始時に検討している。使い慣れた家具として、箆笥や衣装ケース、こたつ、テーブル、椅子、テレビ、ミシン、仏壇、位牌、家族写真などの持込みがある。日用品、化粧品、コップや食器などの使い慣れた物の持込みもある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>本人ができることは、時間がかかっても、自身でやっていただいています。本人が難しいことは、職員がお手伝いしますが、できることまで取り上げてしまわないように気を付けています。</p>		

V アウトカム項目(GHさゆり①) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念「全ての人の尊厳を大切にします。」「全ての人が両親を入所させたい施設を目指します。」更衣室の目につく場所に貼りだして、いつも目に入るようにしている。職員がケアに迷ったときは、理念に立ち返ることをしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の方と一緒に畑作業をし、花を植えたり、草抜きをしています。季節により、地元のお餅屋さんや牡蠣屋さん、中華屋さんなどからおいしいものを購入して、皆で食べています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議や、地域行事等でお会いした地域の方々から、介護保険の事や認知症の方への対応の仕方を質問されたときは、丁寧に説明しています。また、地域の方から電話での質問や困りごとに、回答や助言を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催しています。自治会長、民生委員、包括の職員さんにお越しいただき、施設の取り組みや今後の計画を報告しています。また、ヒヤリハットや事故報告、虐待防止や身体拘束廃止について報告相談し、ご意見や助言をいただき、運営やケアに反映し生かしています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市担当職員と、書類の提出時や運営上の相談を行っています。地域包括支援センターとも、地域の介護で困っている方を紹介させて頂いたり、運営推進会議に出席頂き、各種報告や相談をさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居契約時に書面によりご説明し、承諾を得て、緊急時にも書面による説明承諾を行っています。委員会を設置し、施設内研修を定期的に行っています。職員間でも互いに確認しあい、少しでも身体拘束のグレーゾーンをなくすよう努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修にて、虐待へ繋がる兆候やケース儀礼から研鑽しています。委員会を設置し報告や相談を行っています。来所された方や外部の方に施設内を見ていただき、職員の対応や言動から気になるところがないか、ご意見を頂いています。また、職員間でも気づきを話し合える関係を作っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内研修を行っています。成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるのので、実例を通して研修できています。また、制度を利用していらっしゃる方におかれましては、呉市社会福祉協議会の権利擁護センター職員と連携を取り、生活上困りごとがないようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時に書面にて丁寧に説明を行い、十分ご理解納得いただき、署名を頂いています。不明な点や疑問、不安などあればその都度説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しています。窓口責任者を決めて対応しています。また、利用者やご家族との会話の中で出てきた意見を、職員間や運営推進会議で話し合い、運営やケアの改善に活用しています。		

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	不定期でのミーティングを行っています。また、個別での意見や相談も随時受けています。経営者や管理者と話し合える場を作っています。経営者や管理者も、定期的な会議の場や、折々の場で、運営について相談できています。検討した内容を運営やケアに反映できるようにフィードバックをしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々の家庭環境や体調面に配慮した勤務体系を作ったり、生き生きと働けるように、言葉がけを行っています。資格取得や、勉強会への参加を促していますが、職員からの提案も受け入れています。職員考査システムを導入し、やりがいのある職場になっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年に数回不定期で、講師を招き研修会や勉強会を行っています。外部研修では、費用負担や参加しやすい勤務を組んでいます。研修修了者から、学んだことを職場内で広めることをしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人として、資格取得に対する支援を行い、県や市の参加により、職員一人一人の工場を回るよう努めています。同業他社の職員を招いての研修を行っています。オンラインでの研修会も多く参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に、面談等で本人からのお話や普段の様子から、希望することや不安なことを把握し、入居後の生活の要望をお聞きしている。また、安心して新生活に馴染めるよう、本人の声を大切に受け止めています。さらに、ご家族の協力を得ながら心理的関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人との面談時には、ご家族の同席をお願いしています。ご家族の不安なことや困っていることを把握し、入居後の生活の要望をお聞きし、安心してお任せ頂けるよう対応しています。その後は電話でも気軽に相談を受付けて、ケアに生かしています。生活の様子をお伝えすることを細かく行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	お会いした際に、本人の状況や、本人と家族の意見を確認し、必要に応じて、他のサービスや事業所、他の施設の説明や紹介ができること、主治医や薬剤師、行政と気軽に相談できること、当施設では、看取りまでやっており、いろいろな選択ができることをお知らせし、説明しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お一人お一人のできること、得意なことを把握して、テーブルセッティングや下膳、畑仕事に裁縫などをお手伝いいただいています。職員と一緒に作品や壁面制作をしたり、地元の行事についての話や、聞きなれない方言の話を伺っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居前の面談で「当施設では、職員だけでケアを行っていくのではなく、ご家族と一緒にケアしていくことを目指している。」ことをお伝えし、無理のない範囲ででの協力を得ています。面会や嗜好品の差し入れなど、協力いただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族、ご親戚、お孫さん、お友達、近所の方、多くの方に面会いただいています。通院、法事、結婚式など外出を支援しています。遠方の方には、lineやSkypeのビデオ通話も行っています。お住まいだった地域をドライブし、なじみの場所を通っています。知人などに季節のものを送ったり送られたりしています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係が良好になるように、食事の席を工夫したり、入浴の順番を調整したり、レクリエーションの際に交流できるものを取り入れたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	死亡により対処された方の家族は、生前のことを思いだされながらお話をしにこられたりします。他所へ転居された方の家族は、終末期への相談などでこられることがあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	聞き取りや、何気ない会話の中で、思いを汲んでいきたいと考え、行っています。会話や意思疎通が困難な方は、本人の立場になって考え検討したいです。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談から生活歴を大まかに聞き取りし、入居されて生活していく中で、本人や家族からいろいろな話を伺い、それを生活歴に肉付けしていき、歴史を知り、より良いケアにつなげています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	様子を記録し、ケース記録やバイタルチェック、日々の少しの変化などから、本人の状態を見ることで、多職種間で情報共有し、現在の状況の把握、今後の計画を立てています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	普段のかかわりの中で、本人の思いや願いを聞き取り、医師や看護師の意見を取り入れている。家族とのかかわりも重要であるととらえ、意見を反映させた計画を立てている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画に沿ったケアが日々できているかモニタリングし、個別経過記録を取っている。記録を活かし、介護計画に反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	集団行動を基本としていません。できるだけ、個人の希望や身体状況に添えるよう対応しています。予定を組み、時間設定はしていますが、入浴や食事、離床起床時間もそれぞれ対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問美容やボランティア団体による慰問、亀山神社への初詣、近隣のお店から食事を取り寄せたり、弁当を購入したり、花の咲く時期には多くの名所を訪れています。近隣の方が持ってこられた花の苗を育て。水やりや草抜きなどを一緒に楽しんでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週2回の内科往診。週3回の歯科往診があります。専門医への受診は、その都度職員で対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師が日に4回訪問しています。医療処置やリハビリ、健康チェックや相談を行っています。かかりつけ医との連携をとったり、緊急時には24時間コール対応していただきます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院と、連携室をとおして情報のやり取りをしています。治療が終わったら、すぐに帰ってこられるように調整しています。また、空き情報などの提供を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に書面により重度化や終末期について説明しています。医師より、いよいよ終末期に入った旨を告知された場合は、再度、本人家族の意思確認をしたうえで説明し、今後のことや看取りを含めた選択肢などについて話し合います。医師看護師介護士家族の情報伝達や連携をより一層強め、かかわっていきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	入居契約時に書面にて急変があること、事故が起こることを説明しています。医師や看護師から緊急時の対応を研修や指導を受けています。連絡体制を目につく場所に貼りだしたり、緊急時マニュアルもあり、日頃から準備できています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て、日中想定夜間想定年2回の火災訓練、芸予地震対応訓練、土砂災害対応訓練、津波避難訓練を行っています。また、備蓄水食料や災害時物資を保管しています。		

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	基本理念を繰り返し思い返すよう指導している。接遇や言葉遣い、プライバシー保護について研修を継続しています。入浴時や排泄時、居室などのプライベートな空間をゆっくりくつろげるよう対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望することや思いを、本人の意思決定を大切にしています。本人から引き出せるよう、言葉を選んで話しかけています。例えば選びやすいよう選択肢を減らしたり増やしたりしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課をこなすために、起床臥床時間や食事摂取量、入浴時間、レクへの参加などを他者と同じくしなくてもよいです。健康に害があることでなければ、お一人お一人のペースでお過ごしいただけるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、お出かけ前の整容、季節に合わせた装いをお手伝いします。2ヶ月に1度、訪問美容に来ていただいています。カット、カラー、パーマ、メイクを楽しまれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1度の特別食は日頃と違ったメニューを用意して楽しんでいただきます。季節の食材を使った料理は大変喜ばれます。お好み焼きの日は、皆さん総出で調理をされています。できることを無理なく参加頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専門業者による献立で、栄養価の管理はできています。一日の食事摂取量、水分摂取量を個人記録に残し、医師看護師と情報共有しています。栄養が不足する方は、栄養飲料で補っています。歯科医とも連携を取っており、状況により食材を刻んだりトロミを付けて摂取しやすくしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に歯磨きうがい、義歯の清潔保持を行っています。自身で難しい方には職員がお手伝いしています。週に3回、歯科衛生士が来られるので、口腔内や飲み込みの状況を確認しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を使用して、排泄のパターンを把握するようにしています。時間やサインを見逃さないようにしています。できるだけトイレでの排泄ができるよう、タイミングを逃さないようにしています。新規入居者の排泄パターンは、早期に把握できるように心掛けています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬だけに頼らないよう、適度な運動と水分摂取をしっかりと行っています。自然な排便ができるよう、毎朝の食事に乳製品を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者の気持ちや、体調に配慮して、時間の変更や日にちを調整しています。入浴が億劫で拒否される方もいらっしゃいますが、一度トイレにお連れしたり、話題を変えてしばらくお話ししたり、入浴したくなるよう促しています。洗身洗髪、更衣が難しい方は、職員ができないところをお手伝いしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夜間にしっかり休めるよう、日 中は活動的に過ごして頂くこと をお勧めしています。食後や入浴 後、運動後、年齢や体調、気分 などで少しお休みになりたい方 は、夜間の睡眠に影響がない範 囲で、横になっておられます。朝 の起床時間や夜の臥床時間決ま っていますが、個々のペースに従 っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	かかりつけ医、看護師、薬剤師 と連携し、病状の変化や服薬内 容を記録し、職員間で情報を共 有している。おくすり手帳やお 薬ファイルを使っており、いつ でも確認できるようにしている。 お薬の変更があった場合は、薬 剤師から通知があり、周知して いる地震で服薬が難しい方は、 介助しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	手作業や園芸、掃除、洗濯、散 歩、おしゃべり、個々のお好き なことができるよう、時間や環 境をつくっています。自宅の周 りをめぐるドライブは好評です。 移動販売の来所を楽しみにさ れ、お好きなものを購入してい ます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	散歩や日向ぼっこ、洗濯もの干 し、ドライブ、なじみの地域、地 域行事などで外出しています。 車両でご自宅までお送りし、家 の換気をされています。ご家族 の協力で、法事や結婚式、買 い物や役所などに外出できる ように支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	自身の財布から自販機で飲み物 を購入されています。移動販売 車がある日は、好きなものを選 んで購入されています。訪問美 容や通院時に自身でお金を払 われています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話をお持ちの方は、いつでも家族と連絡を取っていただけます。お持ちでない方も、施設の電話やlineとSkypeのビデオ通話をご利用頂きます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部は見た感じと、香りと消毒に気を付けています。季節感のある飾りつけと作品、換気や消臭芳香剤ですがすがしく生活していただきます。手が触れる場所は、定時の消毒で清潔にし、感染症対策もしっかり行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	わいわいにぎやかに過ごされたい方は、テーブル席でお過ごしいただけます。ゆっくりしたいけど、部屋に帰るのは寂しい方は、ソファでくつろぐことができます。ご自由にゆっくりとお過ごしてください。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	新たに購入したものでなくても、これまで過ごしたご自宅にあるもので、本人が必要なものをお持ちいただくようにしています。居室内の配置であったり、模様替えは、本人と家族に相談しながら行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人ができることは、時間がかかっても、自身でやっていただいています。本人が難しいことは、職員がお手伝いしますが、できることまで取り上げてしまわないように気を付けています。		

V アウトカム項目(GHさゆり②) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームさゆり

作成日 令和4年12月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	20	一時帰宅や、外泊ができていない。	一時帰宅や、外泊ができるようになる。	可能にするために、ルール作りや社会状況を見極め、医師と相談しながら取り組む。	12か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。